

歳末助け合い運動募金を寄付しました

体育会に所属する学生延べ550名による歳末助け合い運動が、11月28日(土)から12月11日(金)の期間に、市内4箇所及び学内7箇所にて行われました。期間中は、JR郡山駅前周辺での街頭募金活動や学部内に設置した募金箱で市民や学生に協力を呼びかけ、510,947円の寄付金が寄せられました。寄付金は、浅里和茂学生担当、小野信太郎学生課長、門馬空哉体育会委員長(生命応用化学科2年)、原田康介同渉外局長(機械工学科2年)から、社会福祉法人郡山市社会福祉協議会会長の太田健三氏に手渡されました。寄付は昭和45年から毎年実施しており、今年で46回目。寄付金額の累計は、43,744,519円になりました。皆様のご協力ありがとうございました。



語学教育に関する包括連携協定を締結

日本大学工学部では加速するグローバル化に対応するため、1月26日(火)に神田外語大学と語学教育に関する「包括連携協定」を締結しました。この協定により、神田外語大学が開学以来長年培ってきた語学教育に関するノウハウを享受することで、国際社会で活躍するエンジニアの育成・輩出をより一層充実させてまいります。平成28年度は第一段階として、国際学会等で英語によるプレゼンテーション力を高めるために、日本大学大学院工学研究科での講義展開と、その基礎力を充実させるための学部生に対する英会話講座を開始します。



工学部で平成28年東北地区若手研究者研究発表会が開催されました

平成28年東北地区若手研究者研究発表会が、3月1日(火)に工学部70号館で開催されました。東北地区の高等専門学校生、大学生、大学院生、若手社員、若手研究員が対象の「音・光・電波・エネルギー・システム・材料とその応用」に関する研究発表会です。当日は、東北6県から、高校生、高等専門学校生、大学生、大学院生が参加し、発表件数170件、参加者数299人と盛会となりました。電気電子工学科、情報工学科の学生も口頭発表やポスターセッションに参加し、日頃の研究成果を紹介する良い機会となりました。★表彰者については工学部ホームページをご覧ください。



平成27年度 学・協会賞等受賞者に対する表彰

1月14日(木)、平成27年度 学・協会賞等受賞者に対する表彰式を行いました。

所 属	資格・氏名	授賞学・協会名	受賞年月日	受賞名	受賞理由
建築学科	准教授 浦部 智義	日本デザイン振興会	2015年11月4日	グッドデザイン賞 (中山間地における集会所施設とまちづくり活動)	「地形舞台—中山間過疎地域に寄り添う芽蒔き集会所施設と舞台を起点とするまちづくり活動」が地域コミュニティと深く関係する建築とまちづくり活動が評価されたため
建築学科	准教授 浦部 智義	日本デザイン振興会	2015年11月4日	グッドデザイン賞 (木質構法を用いた復興住宅モデル)	「小規模コミュニティ型木造復興住宅技術モデル群-希望ヶ丘プロジェクト」が震災後の復興住宅として独創的な仮設住宅として、社会全体の発展に寄与するものとして評価されたため
建築学科	助 教 齋藤 俊克	日本コンクリート工学会 東北支部	2015年5月20日	日本コンクリート工学会東北支部 奨励賞	論文「エマルジョン処理竹補強材を用いた竹補強セメントモルタルの曲げ性状に及ぼす養生方法の影響」の研究成果が独創性、萌芽性及び将来性に富むと認められたため
建築学科	助 教 山岸 吉弘	日本建築学会	2015年9月4日	日本建築学会奨励賞	「近年中に発表された独創性・先駆性・萌芽性・将来性のある建築に関する優れた論文等の業績を表彰する」という内容に発表論文が該当すると認められたため
電気電子工学科	教 授 天野 耀鴻 准教授 乾 成里	日本AEM学会	2014年12月4日	日本AEM学会著作賞	著書「わかりやすい電気機器」が、日本AEM学会に関連する分野の基礎教育の啓蒙に果たされた寄与が大きいと認められたため

平山和雄教授の最終講義

生命応用化学科の平山和雄教授の最終講義「超高感度分析法の開発と環境保全に取り組んで」が、3月5日(土)、50周年記念館(ハットNE)AV講義室で行われました。平山教授は長年、地球環境に負荷をかける物質の汚染状況の調査と、有害成分の除去と有用金属の回収を可能にする新しい吸着材料の開発に取り組んでこられました。近年では、従来の方法では測定不可能だった環境水中の微量成分を定量できる超高感度分析法の確立にも尽力されました。これまで環境保全の研究に寄与された平山教授の功績を讃え、会場に集まった学部生、大学院生、卒業生、教職員等からは惜しい拍手が送られました。



化学科同窓会 総会開催

3月5日(土)、「日本大学工学部 化学科同窓会」の初めての総会が50周年記念館(ハットNE)AV講義室にて開催されました。この会は、旧工業化学科、旧物質化学工学科、生命応用化学科の卒業生の皆さまの相互の親睦をはかるとともに、卒業生と母校である日本大学工学部生命応用化学科との絆を深めることを目的に設立されたものです。当日は、化学科同窓会参加者100名により、会則の承認、会長・役員紹介、次年度の予算案の承認等を行いました。また、総会後にはカフェテリアに移動し、懇親会も盛大に行われました。会の詳細、活動等については「化学科同窓会」ホームページ(<http://ch.ce.nihon-u.ac.jp/dosokai/>)にて発信していきます。



学生寮「パンデリアン郡山」が完成しました

この度、日本大学の新生学生寮「パンデリアン郡山」が完成し、3月12日(土)に竣工式が行われました。定員100名の男子寮となっており、テレビ、机、椅子、冷蔵庫等が完備されたワンルームタイプの個室で、安全・安心な管理・セキュリティ体制のもと、学生が安心して勉学に励むことができる環境を整えています。平成28年度入学生がこの春から新生活をスタートさせます。



congratulations

H27年度 日本大学工学部卒業生・
大学院工学研究科修了生

卒業
特集号

CONTENTS

卒業特集

祝辞 P1
平成27年度卒業式表彰者 P2
贈る言葉 P3-4
4年間の思い出 P5-6
クローズアップ研究室 P7-12

就職特集

将来の夢 P13-14
工学部の就職支援活用術 P15-16
学生の活躍 P17
卒業生の皆さまへ P18
工学部だより P19

祝辞

本質を見抜く力と優れた感覚、
そして『自主創造』の精神で
新しい時代を切り拓く技術者・
研究者になることを期待します

日本大学工学部長 出村 克宣

学部卒業・大学院修了、誠におめでとうございます。学部
を代表し、心よりお祝い申し上げます。

皆さんが工学部に入学したのは、未曾有の大災害をもた
らした東日本大震災の翌年のことでした。当時、福島県は
東京電力福島第一原発事故による風評被害の影響を受け、
復興に向けても多くの不安を抱えていました。しかし皆さん
は、そのような状況の中でも工学部を志願し、この地で学ば
れることを決意されました。福島の復興に貢献したいという
熱意を持った学生が大勢いたことに、我々教職員も大いに
勇気づけられたものです。そうした志に応えるべく、教職員
一丸となって教育環境の維持にあたり、学生諸君が安心して
勉学に励めるように努めてまいりました。これまでも工学
部では、研究や課外活動を通して、地域社会とのつながり
やふれあう機会が多く、豊かな人間性を育める環境がある
ことも大きな魅力でした。震災後はさらに深く関わる機会が
増え、皆さんにとっても人としての大きな成長につながる価
値のある経験ができたのではないのでしょうか。現在、『地方
創生』をキーワードに様々な政策が立案されていますが、地
域の価値を見出した上で新たなものを付け加えることが、
今叫ばれている『地方創生』につながるものと考えられます。
卒業後、皆さんは様々な地域に赴くことになりますが、積極
的に地域社会と関わる中で魅力を発見し、その地域の発展
に大いに貢献されることを願っています。

4年前、開講式の式辞でも述べた日本大学の校歌の冒頭
にある『日に日に新たに』という言葉は、中国の古典『大学』
の中にあり、そこには「まことに日に新たに、日に新たに、ま
た日に新たなり」と記されています。自分を鍛えるためには、
自分で意識して日々努力することが大切であるという励まし
の言葉です。皆さんには入学当初より、100回または100日
間を目標に努力を積み重ねるようにと指導してまいりました。
大学での学習熱心度は卒業後の学習の習慣化につながると
言われています。社会人になってからも学ぶ姿勢を忘れ

ずに日々努力を重ねながら、知識や能力獲得力を向上させ
活躍の場を広げてください。

大学での学修成果の集大成となる卒業研究では、大い
に奮励されたことと思います。時には予期せぬ結果に一喜
一憂したこともあるでしょう。目指す成果が得られた時の感
動が研究の醍醐味とも言えますが、予想しない結果を生む
原因を探ることも醍醐味の一つであり、実はそこから新しい
ものが生まれることも多いのです。だから研究に失敗はない。
同様に、皆さんの人生にも失敗はありません。失敗だと思っ
たことも、そこから学べば成果を生むための糧になるからで
す。失敗を恐れず、常にチャレンジしていく。そしてどんなこ
とにでもトップを目指し、継続して取り組む姿勢を大切にし
てほしいと思います。例えば、オリンピックに向けて競技者が
金メダルを目指して努力したとしても、必ず達成できるとい
うものではありません。しかし、金メダルを目指すからこそ、
新たな成果が生まれるのです。日本大学の学祖、山田顕義
が元服を迎えるにあたり、師である吉田松陰から授かった
扇面には「立志は特異を尚(とうと)ぶ」とあります。人とは異
なる高い志を立てよ、志を立てるとき、他と異なることを恐れ
るなど論しています。皆さんもこの言葉を胸に刻み、自ら立
てた高い志を全うできるよう邁進してください。

また、これからは科学技術の利用が社会活動に及ぼす
影響を見定める能力も必要です。今はスマートフォンでどこ
でもいつでも気軽に情報を入手できる時代ですが、情報過
多になりすぎて、何が正しいのか、有益な情報はどれかを
判断するのが難しくなっています。だからこそ、本質を見抜く
力や優れた感覚を養うことが重要なのです。そのためには、
科学の領域だけでなく、教養も含めた幅広い知識を身につ
けてください。そして、大学生活で培った『自主創造』の精神
で、新しい時代を切り拓く技術者・研究者になることを期待
しています。



平成27年度卒業式表彰者

日本大学学長賞(学業部門)

田力 遼史 (情報工学科)

日本大学優等賞

富澤 渉 (土木工学科) 菅野 陽介 (電気電子工学科)
漆原 秀明 (建築学科) 榎木 正美 (生命応用化学科)
田井 峻平 (建築学科) 中村 崇史 (生命応用化学科)
大森 琢史 (機械工学科) 田力 遼史 (情報工学科)
小林 亮太 (機械工学科) 井上 裕輔 (情報工学科)
木原 健太郎 (電気電子工学科)

工学部長賞 学術・文化部門(個人)

秋田 紘志 (土木工学科)

「第3回日本水環境学会東北支部研究発表会」での奨励賞

大友 勝多 (建築学科)

「第19回JIA東北建築学生賞審査会」での特別賞

高梨 真弘 (建築学科)

「第18回JIA東北建築学生賞審査会」での東北専門新聞連盟賞

西潟 健人 (建築学科)

「第1回学生住宅デザインコンテスト」でのHINOKIYA賞

飯田 祐一郎 (生命応用化学専攻)

①「平成27年度化学系学協会東北大会」での優秀ポスター賞

②「平成27年度日本セラミックス協会東北北海道支部郡山地区セミナー」での優秀発表賞

菅原 稔也 (生命応用化学専攻)

①「第5回福島地区CEセミナー」での口頭発表優秀賞

②「7th International Symposium on Molecular Thermodynamics and Molecular Simulation」での
Excellence in Student Poster Presentation

中村 彪 (生命応用化学専攻)

①「(公社)化学工学会第46回秋季大会基礎物性部会主催シンポジウム
＜最先端プロセスを支える基礎物性―測定とシミュレーション―＞」での最優秀講演賞

②「7th International Symposium on Molecular Thermodynamics and Molecular Simulation」での
Excellence in Student Poster Presentation

山 拓司 (生命応用化学専攻)

①「第5回福島地区CEセミナー」でのポスター発表優秀賞

②「第38回溶液化学シンポジウム」でのポスター賞

渡邊 正輝 (生命応用化学専攻)

①「(公社)化学工学会第46回秋季大会基礎物性部会主催シンポジウム
＜最先端プロセスを支える基礎物性―測定とシミュレーション―＞」での優秀講演賞

②「(公社)化学工学会第47回秋季大会基礎物性部会セッション」での学生優秀講演賞優秀賞

工学部長賞 体育部門(個人)

射撃部 近内 貴志 (機械工学科)

「第41回東北総合体育大会ライフル射撃競技」での準優勝

北心賞 学術・文化部門(個人)

小林 拓也 (建築学専攻)

「JIA全国学生卒業設計コンクール2014東北支部審査会」にて東北代表の2作品に選出され
「JIA全国学生卒業設計コンクール2014」に出展。東北唯一の一次審査通過。

父母会賞

山田 健太 (土木工学科) 佐々木 真之介 (電気電子工学科)
熊谷 秀斗 (土木工学科) 嘉藤 慎一 (電気電子工学科)
田井 峻平 (建築学科) 西村 祥穂 (生命応用化学科)
谷津 拓弥 (建築学科) 橋本 正明 (生命応用化学科)
高森 隆維 (機械工学科) 小林 佳正 (情報工学科)
田中 稔樹 (機械工学科) 神長 翼 (情報工学科)

校友会賞(個人)

体育会委員長

酒井 直人 (情報工学科)

学術文化サークル連合会第42代委員長

神山 遼 (情報工学科)

第64回北桜祭実行委員会委員長

涌井 靖章 (機械工学科)

応援団第60代團長

齊藤 雄輝 (機械工学科)

博士学位取得者

前島 拓 (土木工学専攻)

指導：岩城 一郎 教授、子田 康弘 准教授

論文題名：凍結防止剤散布下において劣化した道路橋RC床版の耐疲労性評価に関する研究

谷田部 幸太郎 (機械工学専攻)

指導：横田 理 教授

論文題名：光透過式レプリカによる加工面の表面粗さ測定に関する研究

市川 司 (物質化学工学専攻)

指導：根本 修克 教授

論文題名：四級イミダゾリウム塩を有するポリシロキサン系イオン液体の合成とその物性

学会賞等受賞者

第69回セメント技術大会「優秀講演者賞」

平成26年度日本コンクリート工学会東北支部「奨励賞」ほか

前島 拓 (土木工学専攻)

指導：岩城 一郎 教授、子田 康弘 准教授

斎藤 賞

(修士論文)

薄井 良佳 (建築学専攻)

指導：三浦 金作 教授、土方 吉雄 准教授

「住民主体による景観まちづくりに関する研究」

北桜 賞

(修士論文)

尾形 雅人 (建築学専攻)

指導：Sanjay PAREEK 准教授

「RC構造物の長寿命化を目的とした自己修復コンクリートの開発」

桜建 賞

(卒業設計)

川俣 貴史 (建築学科)

指導：浦部 智義 准教授

「山あげの気配―祭舞台の日常―」

桜建 賞

(卒業論文)

漆原 秀明 (建築学科)

指導：浅見 和茂 教授

「鉄骨トラス置屋根形式建物の弾塑性挙動
―耐震補強による安全性の確認―」

菱沼 匠 (建築学科)

指導：Sanjay PAREEK 准教授

「超弾性合金を用いた自己修復RC梁部材の実用化に向けた
実験及び解析的研究」

佐藤 幸音 (建築学科)

指導：市岡 綾子 専任講師

「福島県内における赤瓦を活用した建築物に関する調査研究」

伊藤 雅実 (建築学科)

指導：土方 吉雄 准教授

「公園内における移動イスの設置方法に関する研究
―エリア特性と移動イス設置適正個数について―」

遠藤 達也 (建築学科)

指導：市岡 綾子 専任講師

一般社団法人 日本機械学会「三浦賞」

公益社団法人 自動車技術会「大学院研究奨励賞」

向川 康介 (機械工学専攻)

指導：西本 哲也 教授

一般社団法人 日本機械学会「畠山賞」

大森 琢史 (機械工学科)

指導：橋本 純 教授

小林 亮太 (機械工学科)

指導：橋本 純 教授

公益社団法人 自動車技術会

「関東支部学術研究講演会ベストペーパー賞」

「関東支部学術研究講演会ベストプレゼンテーション賞」

坪井 昭典 (機械工学科)

指導：西本 哲也 教授

公益社団法人 自動車技術会

「関東支部学術研究講演会ベストペーパー賞」

山野井 崇紘 (機械工学科)

指導：西本 哲也 教授

平成26年度電子情報通信学会東北支部「優秀学生表彰」

平成27年東北地区若手研究者研究発表会
電子情報通信学会東北支部「学生優秀発表賞」

松岡 大智 (電気電子工学専攻)

指導：石川 博康 教授

平成27年度電気学会東北支部「優秀学生賞」

石井 寛人 (電気電子工学専攻)

指導：渡部 仁貴 教授

ピンチはチャンス



土木工学科
教授 中野 和典

ご卒業おめでとうございます。「ピンチはチャンス」という言葉は私が大学を卒業した際にOBより頂いた言葉です。ピンチを乗り越えると大きなチャンスが待っています。逆に、せっかくのチャンスを逃すとピンチとなります。ピンチの時には上手に自分を奮い立たせ、チャンスの時には気を引き締めましょう。皆さんのご健闘を心より期待しています。

卒業特集 Graduation Feature

贈る言葉

各学科の4年 クラス担任等から 卒業生へのメッセージ

Do the likeliest, and God will do the best.



生命応用化学科
教授 沼田 靖

卒業おめでとうございます。卒業して社会に出て行く人、さらに専門の勉強をするために大学院に進む人がいると思いますが、今この瞬間の気持ちを忘れないでがんばってもらいたいと思います。社会に出ると自分の思うように進まないことが多々あると思います。そんなときは「まあ、なんとかなる」と気楽に構えて、自分のできることをしながら時を待ちましょう。きっと良くなっていますよ。

最後まで諦めずに



土木工学科
教授 中村 晋

卒業おめでとうございます。皆さんはこれまで答えのある問題を解く方法を学んできました。これからは様々な答えのある現実と向き合うことになります。最善また、次善の答えが見つからなくても、最後まで諦めずに、その次に良いと思える答えを見出すために努力をしてください。皆さんの技術者としての活躍、また社会人としての成長を期待しています。

次代を担う皆さんへ



建築学科
教授 速水 清孝

ご卒業おめでとうございます。あの震災の翌年、福島への道を選んだ皆さんに、幸多きことをお祈りします。大学は、生涯続く専門家の道への最初の一步を踏む場所です。その第一歩目が、振り返って「頑張った」と思えたなら、これほど素晴らしいことはありません。もし一歩目がそうでなかったなら、二歩目で。道のりは長い。次代を担う皆さんの活躍を期待しています。

自信と誇りを持って



建築学科
助教 日比野 巧

ご卒業おめでとうございます。大学生活はいかがでしたか？あつという間の4年間だったと感じる人が多いかと思います。しかし、その4年間で皆さんは多くの知識や経験を経て確実に成長しています。これから社会人と言う新たなステージに期待と不安があるかと思いますが、工学部で学んだことに自信と誇りを持ってください。皆さんの活躍を期待しています。

夢を追いかけて



生命応用化学科
准教授 岸 努

ご卒業おめでとうございます。社会に出てからも自分の夢に向かってがんばってください。これまでの私の経験から、広い識見を持ち、新しいことをやり遂げようとする気概を持ち、物事に謙虚に取り組むことが重要であると感じています。いつの日かお目にかかり、皆さんと夢を語り合える日が来ることを楽しみにしております。

日々の努力



機械工学科
教授 橋本 純

ご卒業、おめでとうございます。これからが夢の実現への始まりで、それを達成するためには目標を持つことです。若い力こそ無限の可能性があります。掲げた目標を達成するためには、自らの日々の努力しかありません。目標に向かって果敢に挑戦し、プラス思考で一步一步前進してください。諦めることなく絶えず努力すれば、必ず報われます。皆さんの明るい夢の実現を祈念します。

まずは、やってみる！



機械工学科
助教 宮岡 大

卒業おめでとうございます。学生生活4年間はあつという間のものだったと思います。社会にでると大学のときほど自由ではないかもしれませんが、嫌なこともすることになるかもしれません。しかし、こうしたことをひとつひとつ逃げずにやりきって、乗り越えていくなかでさらに大きく成長できるはずです。今後の皆さんのご活躍をお祈りしております。

大いに活躍してください



情報工学科
教授 岩井 俊哉

ご卒業おめでとうございます。この4年間で、勉強・サークルなどで頑張ったり、時には何かに挫折したり人それぞれ経験が異なると思います。その経験をこれからの生きる力にすることが出来ます。自分を信じて、一歩ずつ前に進んでください。何かが変わります。また、本番の学びの場である社会で自ら学び続け、豊かな想像力と発想力を身に付け、ご活躍されることを期待します。

いまは大志を抱いてください



情報工学科
准教授 大山 勝徳

ご卒業おめでとうございます。皆さんはこれから新しい道に進めます。もし大志がなければ安全で楽な道しか選べず、人生の前も後ろも明るく見わたすことができません。これからの社会で体験するどんな挫折も失敗も実はチャンスだと捉えるかが大事です。迷った時には大学時代の友達や先生の顔を思い出して力に変えて下さい。工学部の先輩として心からご活躍を期待しています。

友人との繋がりを大切に



電気電子工学科
教授 池田 正則

ご卒業おめでとうございます。これから皆さんは、それぞれ別の仕事へ就いていきますが、意外と仕事上で関係が出てきます。友人との付き合いが一生続くよう、こまめに連絡を取り合い、今以上に繋がりを大切にしてください。また、皆さんは自分が思っている以上に、やれば出来ることがたくさんあります。困難に直面した時でも自分を見失わずにいられるよう体と心を鍛え、自分の可能性を信じてください。ご活躍を期待しています。

授かった命を大切に



電気電子工学科
教授 山田 聡

卒業おめでとうございます。これから社会に出て活躍されると自分自身で決断することが多くなります。今、生きていることの幸せをかみしめ、授かった命を社会、家族、自分のために思う存分有効に活用してください。些細な一個人の決断も集まれば大きな動きになります。目標に向かって日々チャレンジし、将来、授かる命のために、みんなでよりよい未来をつくりましょう。

出合いを大切に



総合教育
教授 植竹 大輔

ご卒業おめでとうございます。人生には様々な出会いがあります。大学生生活の4年間は大きな出会いの時だったでしょう。友人との出会い。恩師との出会い。そして皆さんはこれから社会に出て、今以上に沢山のひととの出会いを経験するでしょう。その出会いをどのように活かすかによって、皆さんの人生は決まります。生き甲斐のある、そして出会えたことに感謝出来る人生にしてください。

卒業生諸君へ



総合教育
教授 マイケルナイバーグ

ご卒業おめでとうございます！君たちの人生に於いてとても有意義な大学生活を送られましたね。君たちを取り巻く世界は刻々と変化するので、これからも柔軟に適応することを学び、人生に立ちのびる困難にも立ち向かわなければなりません。私が君たちに贈ることができるアドバイスは、何事にも挑戦し最善を尽くせ、ということです。やってみれば、たいい良い結果になるものです。Good luck!

卒業特集
Graduation Feature
2012年度
1年次



4月 APR **開講式**
校のように、まだ蕾だった新入生たち。でも夢は大きく膨らんでいました。

4月 APR **新入生学外研修**
福島県等の観光地や施設を巡る1泊2日の研修で、仲間との親睦を深めました。



5月 MAY **6月 JUN**

教養講座

宇宙飛行士の山崎直子氏など、著名人の貴重な話を聞くことができました。



6月 JUN **10月 OCT**

第1回 工学部体育祭

記念すべき第1回工学部体育祭。先輩たちに交じって大奮闘！



9月 SEP

英単語コンテスト

1年生対象の英単語コンテストに挑戦！23名が見事成績優秀者に！



10月 OCT

第62回北桜祭



4月 APR

学食に新メニュー登場！

新しく「日替わりランチ」や「和食膳」が加わり、バラエティ豊かなメニューになりました。



6月 JUN **10月 OCT**

第3回 工学部体育祭



7月 JUL

環境美化運動

学術文化サークル連合会を中心に、学生が主体となってキャンパス内を清掃しました。



10月 OCT

第64回北桜祭



北桜祭の新キャラクター「桜子さん」に決定！アルパカも初登場で盛り上がった北桜祭でした。



卒業特集
Graduation Feature
2014年度
3年次

3月 MAR

工学部就職セミナー



就職活動解禁が後ろ倒しになったことで、例年より遅い3月に開催された工学部就職セミナー。

卒業特集
Graduation Feature

勉強やサークル、課外活動など充実した

4年間の思い出

大学生活だった4年間。行事やトピックスとともに振り返ります。

MEMORIES



卒業特集
Graduation Feature
2013年度
2年次



4月 APR

臨床工学技士課程設置

4月 APR **自転車修理サービスリニューアル**



6月 JUN **10月 OCT**

第2回 工学部体育祭



競技だけでなく応援合戦もヒートアップ！熱気に溢れた大会でした。



10月 OCT

第63回北桜祭



台風の影響で屋内での開催となった北桜祭でしたが、心温まるアットホームな祭りになりました。

2月 FEB

ヨーロッパ研修旅行

ヨーロッパ諸国を巡り、異国文化を体験！学科の枠を超えて友人の輪も広がりました。



7月 JUL **11月 NOV**

徳定川清掃

土木工学科の地域貢献活動の一つである徳定川清掃では、胴長隊が大活躍！

6月 JUN **10月 OCT**

第4回 工学部体育祭

最後の思い出となる体育祭で有終の美。仲間との絆も深まりました。



8月 AUG **9月 SEP** **10月 OCT**

オープンキャンパス

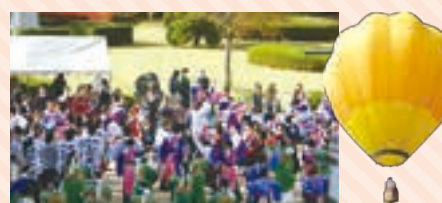


高校生を対象としたオープンキャンパスで、日頃の学習や研究成果を紹介。

10月 OCT

第65回北桜祭

天気にも恵まれて大いに賑わった北桜祭。楽しい思い出になりました。



卒業特集
Graduation Feature
2015年度
4年次

2月 FEB

卒業研究発表会



4年間の学修の成果ともいえる卒業研究発表会。終わったあとは、みんないい笑顔でした！



4月：記念すべき研究室配属直後の
フォトグラフ



12月：キャプテン椎名君の誕生日をピザと
水餃子とケーキでお祝い

研究のテーマ

- ▶ 溜池における浮葉植物の大量繁茂による水生植物相の貧弱化メカニズムの解明
(現地調査：椎名陸、若倉翔平、室内実験：藤田陽)
- ▶ 溜池の伝統的水質浄化法「池干し」の工学的評価と管理手法の開発
(室内実験【栄養塩】：瓜生弘輝、室内実験【溶存酸素】：佐野宏樹)
- ▶ 白河市南湖の水質保全と親水性向上のためのヒシ刈り取りの効果評価
(現地調査：椎名陸) など

クローズアップ
研究室

土木工学科

水環境システム研究室

水環境を守るために 自然現象を解明する

私たちの研究室では湖沼や河川、沿岸域などを対象に、水環境が悪化するメカニズムや対策について検討しています。白河市との共同研究でもある南湖の水環境保全のための調査では、フィールドワークの醍醐味を味わえます。生息する多種多様な水生植物が水質汚濁にどう影響を及ぼすかといった自然現象の不思議を体感できるのが研究の面白いところです。「池干し」という水質浄化法があることも知り、研究を通して自然や水環境について深く考えるようになりました。実験で失敗することもあります。忍耐力が身につくのも研究の魅力です。

研究室の 魅力はココ!

月1回の食事会やメンバーの誕生会を催すなど、仲の良さが自慢の研究室。自分の研究以外でも、現地調査は互いに協力し合う団結力と絆の強さがあります。また、調査にご協力いただいた現地の方と交流を深められるのも、楽しみの一つ。徳定川清掃や猪苗代湖の水草回収ボランティア、ソフトボール大会など、思い出も盛り沢山です。



11月：実験用の底泥を採取する瓜生君(右)と佐野君(左)



2月：卒業研究発表会前だけと和やかな研究室



9月：実験用の水生植物を採取する銅長姿の藤田君



9月：南湖調査でボートを借りた「水月さん」にはお団子もご馳走になりました!



5月：春の徳定川清掃で働く椎名君(左)と若倉君(右)



6月：南湖で観測用のパイプを設置する佐野君(左)と椎名君(右)

手塚 公裕 先生からのメッセージ



自分の可能性を信じて目標に向かって本気で努力してください。将来、成長した君たちと再会できることを楽しみにしています。



夏のBBQは楽しい思い出



最高スコア230!月1恒例のボーリング大会

研究のテーマ

- ▶ 鉄骨トラス置屋根形式建屋の弾塑性挙動
- ▶ 非保有耐力接合となるブレース接合部の性状に関する研究
- ▶ 置スラブ屋根形式建物の弾塑性挙動
- ▶ 大地震時における主要都市の地盤の振動性状など

クローズアップ
研究室

建築学科

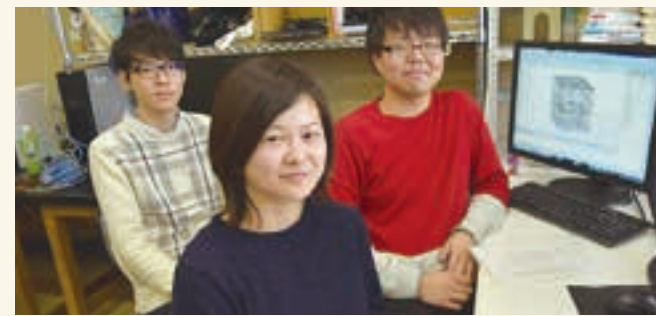
鋼構造デザイン研究室

耐久性の高い建物をつくるための研究

より安全で耐久性の高い建物をつくるために、私たちの研究室では柱や梁、ブレースを使用する鋼構造の耐震性能について研究しています。特にブレース接合部の形状や方法によって、どのような変形や破壊が生じるのかを解明するとともに、どう補強すればよいかその対策を考えます。東北地方太平洋沖地震で被害を受けた体育館や工場などの鉄骨トラス置屋根形式建屋も研究対象の一つ。大型の装置を使った実験や企業と同様のソフトを使った解析など、実務に近い研究に携われるのは魅力的です。さらに探究心や観察力を養い、エンジニアとしての知識を深めています。

研究室の 魅力はココ!

就職後も大いに役立つ建物の構造について詳しく知ることができます。一人に1台パソコンがあり、研究にとことん打ち込める環境も整っています。でも一番の自慢は、懇親会やボーリング大会などのイベントが充実していることです。研究の達成感をみんなで共有できるのは、この研究室ならではの魅力だと思っています。



ソフトを使ったコンピュータでの振動解析



1年間お世話になったプリンターに感謝を込めて



実験中は真剣です



大型装置を使った実験風景



実験についてみんなでディスカッション

浅里 和茂 先生からのメッセージ



卒業研究で苦楽を共にしてきた仲間たちは、社会人となった後に将来の仕事でまた助け合うこともあります。大切にしてください。



実験で使ったブレース接合部にも愛着いっぱい!



クローズアップ研究室

機械工学科

流体システム工学研究室

研究のテーマ

- ▶ アブレシブ・ジェットの流れ構造と加工特性
- ▶ ファン・ジェットによる表面処理
- ▶ キャビテーション・ジェットのPIVと数値解析
- ▶ マイクロバブルの生成と有効利用 など

冬はスキーとスノボを楽しむ

流体研BBQも思い出の一つ

水のパワーを有効に利用するための研究

水を高い圧力に加圧して小さなノズルから噴射させる『ウォータージェット』。コンクリートや金属を切断する力を備えることから、新たな加工技術として注目を集めています。私たちは、この全国でも数少ないウォータージェットの研究に取り組んでいます。可視化および数値解析の手法を用いてウォータージェットの流れの解析と噴流ノズルの設計などの研究を通して、技術の向上を目指します。実験装置を自分たちで製作したり、高速ビデオカメラで実験結果を撮影したり、普段目に見えない現象が映像で見えるので、とても魅力的に感じます。

研究室の魅力はココ!

私たちの研究室はとても和やかな雰囲気で、研究テーマの異なる学生同士でも、気楽に意見交換やディスカッションができます。人数も多く、いつも賑やか。また、ウォータージェット加工機、高速度ビデオカメラやレーザーシート光源、PIV装置などの貴重な実験装置と機材が揃っており、様々な流体现象を観察・計測できます。



ウォータージェットのPIV計測



先進ウォータージェット加工開発システムの実験



高速水中ウォータージェットの数値解析



実験後、解析についてのディスカッション

清水 誠二先生、彭 國義先生、小熊 靖之先生からのメッセージ
卒業おめでとうございます。卒業研究を通して身につけた技術者・研究者の基礎知識、社会人の基本を活かして頑張ってください。



オープンキャンパスでオモシロ体験コーナーを担当



マイクロバブルの実験



クローズアップ研究室

電気電子工学科

ワイヤレス通信研究室

研究のテーマ

- ▶ 移动通信、衛星通信などのワイヤレス通信システムを対象とした研究
- ▶ 次世代移动通信システムのセル構成法と高速伝送方式に関する研究
- ▶ GPSやUAVなどを用いた測位システムに関する研究
- ▶ 無線LANの効率的な運用・エリア構築技術に関する研究 など

電気電子工学科ソフトボール大会で準優勝

歓迎会や忘年会などの懇親会も盛り沢山

最先端の次世代移动通信システムの研究開発に挑む

私たちの研究室は、生活に一番身近な携帯電話をはじめ、GPS、無線LANなどの様々なワイヤレス通信システムについて研究しています。例えば、科学研究費助成事業でもある『複数の無人航空機を用いたユーザ位置検出手法の研究』や、KDDI研究所と共同で進めている次世代移动通信システムの研究など、他にはない独自の研究テーマに挑んでいます。研究の多くは、まだ世に出ていない次世代の技術ばかり!自分たちの作成したプログラムにより、高効率な結果が得られたとき、達成感を感じられるのが研究の魅力であり、モチベーションにつながっています。

研究室の魅力はココ!

Excelやプログラミングなど、社会に出てからも役立つスキルが身につきます。パソコンを使ったシミュレーションだけでなく、電波暗室や屋外での実験ができるのも魅力です。何でも相談できる先生を囲んで談笑できるアットホームな研究室。互いの研究発表について指摘しあえるチームワークの良さも自慢できるところです。



電波伝搬のシミュレーション解析



屋外での電波伝搬実験



GPSを用いた測位システムに関する研究



デジタル変復調技術の評価



電波暗室での実験



UAV(無人航空機)を用いた測位システムの研究

石川 博康 先生からのメッセージ

夏の暑い時期の屋外実験など大変なこともありましたが、研究室で学んだことを活かして社会で活躍してくれることを期待しています。



ベップキッズでの科学実験教室



オープンキャンパスで高校生に研究を紹介

クローズアップ
研究室

生命応用化学科

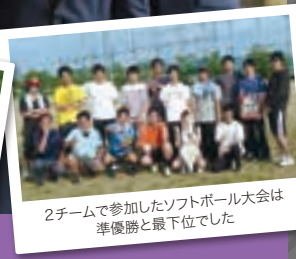
光エネルギー変換研究室

研究のテーマ

- ▶ 時間分解レーザー分光計測装置の開発及びそれを用いた光化学反応の追跡
- ▶ 色素増感太陽電池の動作機構の解明及び新しい反応系の構築
- ▶ 新しい光エネルギー変換反応系に応用するための高純度有機結晶の研究など



ソフトボール大会後はバーベキューで盛り上がる



2チームで参加したソフトボール大会は準優勝と最下位でした

クローズアップ
研究室

情報工学科

環境情報解析研究室

研究のテーマ

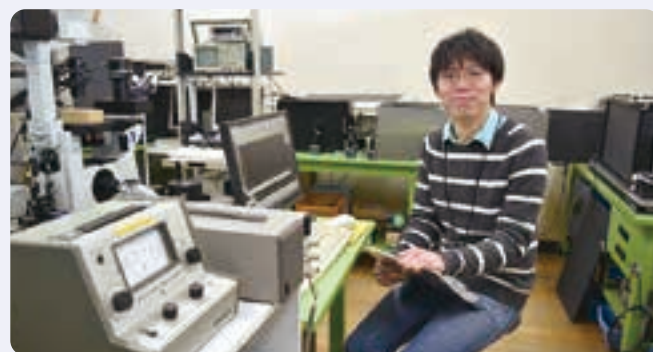
- ▶ 地球観測データの情報解析に関する研究
- ▶ リモートセンシングデータの高精度補正処理に関する研究
- ▶ マイクロ波リモートセンシングに関する研究
- ▶ UAVを使用した近接リモートセンシングの研究など

「人工光合成」を目指す 再生可能エネルギーの研究

エネルギー問題の解決に向けて、私たちは太陽光をエネルギーとして利用する「人工光合成技術」の研究を行っています。特徴としては、色素増感太陽電池に着目し、レーザーを用いた分光学的な手法でそのメカニズムを解明していることです。高純度有機結晶などの新しい材料を用いて、実際に太陽電池を作製し、新しい光エネルギー変換反応系を構築しています。また、研究室で開発した時間分解レーザー分光計測装置を使って、計測方法や評価方法の確立も目指しています。自分で考え証明できる、新しい発見がある、それが研究の喜びにつながっています。

研究室の 魅力はココ!

化学と言えば薬品を扱うイメージがありますが、レーザーを使って他とは違った取り組み方で研究できるのが面白いところです。それぞれ異なる研究テーマに挑みながらも、みんなで議論しています。学会発表のチャンス他、高校生や子どもと触れ合うイベントが多く、幅広い経験ができるのも大きな魅力です。



磁場の印加による蛍光強度変化量の測定



色素増感太陽電池の変換効率の測定



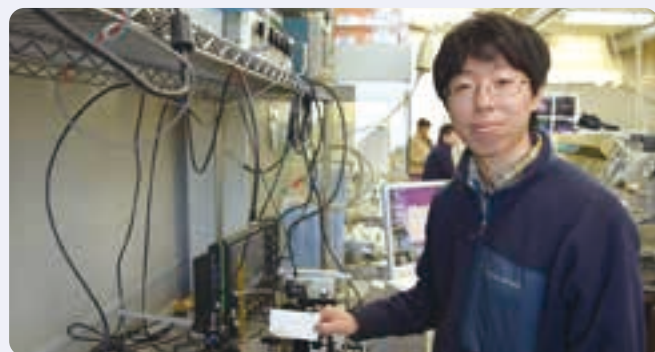
紫外線を照射して溶液の蛍光を調べる



ちびっこマイスターズ・カレッジでの理科教室



時間分解マイクロ波光伝導度法を計測手法として使った研究



時間分解レーザー分光計測装置を使った光化学反応の評価

加藤 隆二 先生からのメッセージ



エンジニアの仕事は締め切り(納期)を守ることが大事です。そのために何をすべきか、いつも意識しましょう。

リモートセンシングを用いて 地球環境の今を把握する

我々のパートナーは、“飛行物体”。ランドサットなどの人工衛星や小型無人航空機(UAV)で観測したリモートセンシングデータを使って、地球環境に関する情報解析を行っています。研究テーマは千差万別。海水や氷河、森林の変化、降雪量、大気汚染、川の氾濫や土砂災害など、自分の知りたい環境情報について研究できるので、やりがいがあります。自作のUAVにも挑戦しました。また、猪苗代湖などの現地調査があるのも、この研究室ならではの。観測された事象がリモートセンシングデータで検知できる点が興味深く、研究がさらに面白くなります。

研究室の 魅力はココ!

関連する分野が幅広いことから卒業研究テーマの自由度が高く、チャレンジングな研究ができます。パソコンだけでなく、UAVを使うところも他の研究室にはない魅力です。現地調査は大変ですが、みんなで行けば楽しい思い出になります。大所帯で賑やかな研究室。個性的なメンバーが揃っていて、懇親会も大いに盛り上がります。



データ解析確認中…果たして結果はいかに？



地球観測データを使って様々な情報解析ができる



オープンキャンパスでUAVを使用した近接リモートセンシングの研究を紹介



白河の稲を対象とした現地調査



猪苗代湖で水生植物の反射特性を計測する



ランドサットデータを使った解析が面白い！



観測データを高精度化する研究もある

若林 裕之 先生、中村 和樹 先生からのメッセージ



研究室で学んだように、恐れずに新しいことに挑戦しましょう。
No pain, No gain. 苦労した時の方が得られるものもきっと多いはず。

就職 特集

希望の就職をかなえた 先輩たちが語る

将来の夢



東日本旅客鉄道株式会社に就職

●土木工学科4年
地震防災研究室

武藤 新志さん

新幹線の高速化につながる
研究開発に取り組みたい

東日本大震災の経験から、街を守れるような仕事がしたいと思い土木工学科に進学。この会社を志望したのも、人々の生活の中で欠かせない鉄道を守りたいと考えたからです。たくさんの卒業生が活躍しているので、会社説明会の際にもリクルーターの先輩方から経験談を聞けるのは大きな強みです。就職指導課情報閲覧室にある先輩の会社別就職活動記録も大変役立ちました。将来は、新幹線の更なる高速化につながる設備の研究開発に取り組みたいと思っています。



五洋建設株式会社に就職

●土木工学科4年
沿岸環境研究室

結城 愛実さん

海のシンボルとなる
大きな構造物をつくりたい

私の夢は信頼される土木技術者になり、人々の生活を支え、シンボルとなるような大規模な土木構造物の施工に携わることです。水関連の分野にひかれたことから、ゼネコンの中でも海に構造物を施工する技術を持つマリコンへの就職を目指しました。就職指導課の方のアドバイスや面接指導などのサポート体制が充実していることが工学部の最大のメリット。そのおかげで自分の軸を見失わず、自信を持って臨んだ結果、希望の道をつかむことができました。



アルパイン株式会社に就職

●電気電子工学科4年
計測制御システム研究室

小林 さやかさん

海外で仕事ができるように
英語力を身につけたい

電気電子工学科で電気回路やデバイスのほか、情報通信関係の知識を学び、就活での視野も広がりました。地元就職を希望していた私にとって、福島県内の求人が多数掲載されている工学部就職支援サイト「CSNavi」は、大変魅力的でした。その中で、女子学生採用枠があったこの会社を受けて、すぐに内定をいただくことができました。面接で他の人とは違う視点で質問したことが評価されたようです。入社後は海外で仕事ができるように英語力を身につけたいと思います。



東日本旅客鉄道株式会社に就職

●電気電子工学科4年
電気機器研究室

谷川 慧悟さん

将来の目標は安全安心な
鉄道をつくること

高校から電気科で学び、さらに大学で専門知識を深めるとともに、所属する研究室ではリニアモーターの研究に取り組みました。その技術を活かせるのは鉄道会社だと考え志望しました。採用されたのは、面接時に志望動機や研究内容をわかりやすく説明できたからだと思います。就職指導課の方の履歴書添削、サークルの仲間との入念な面接練習も大いに役立ちました。高齢者や障がい者等、様々な人が安心して乗れる安全な鉄道をつくること、それが将来の目標です。



株式会社大林組に就職

●建築学科4年
コンピュータシミュレーション応用力学研究室

田井 峻平さん

社会に貢献できる
一流のエンジニアを目指して

3年生の春休みに5社のインターンシップを体験した中で、リクルーターの方や現場の雰囲気が良く、最先端の技術が学べる環境だと感じ、この会社を志望しました。私は建築研究会の会長を務めた経験があり、人を束ねる力を活かせる仕事は施工管理だと考え、自己PRにも反映させました。就活では、ありのままの自分で勝負することが大切。早く一級建築士の資格を取得し、海外を含め様々な現場の監督として社会に貢献できるように、一流のエンジニアを目指します。



大和ハウス工業株式会社に就職

●建築学科4年
建築文化・社会構造設計研究室

横川 結愛奈さん

将来の夢は
設計事務所を持つこと

もともと入りたいインテリアの会社があり、指導教員に相談したところ、親会社の推薦枠があると聞き挑戦しようと思いました。企業研究を重ね、会社説明会に参加した際には積極的に質問し、他の人より目立つように心掛けました。それが評価につながったようです。自分の実力よりレベルの高い企業だからといって諦めることはありません。私の夢は設計事務所を持つこと。ダイワハウス設計部で着実に仕事をこなしながら、自分にしかできないことを確立したいと考えています。



株式会社小野測器に就職

●生命応用化学科4年
環境化学工学研究室

矢吹 律子さん

学んだ知識を活かし、
自社製品を広めたい

物質を測定する実験を通して測定機器に興味を持つようになり、その業界でトップシェアを誇る会社に入りたいと思ったのが、志望動機でした。本学科の募集はなかったのですが、諦めずにアプローチした結果、採用につながりました。早い段階から自分の研究について理解を深め、ここでなら自分の力を発揮できるとアピールしたことが決め手になったと思います。工学部で学んだ知識を活かし、自社製品をもっと広めていけるように頑張ります。



株式会社ADEKAに就職

●生命応用化学専攻2年
環境化学工学研究室

山 拓司さん

大規模な海外事業の
プロジェクトに挑戦したい

就活を通して感じたことは、多数の会社に入エントリーすることで企業研究が手薄になるより、絞った方が得策だということです。また、社会で役立つ実践的な技術を身につけられる工学部で学ぶことは、就活においてもアドバンテージになると思いました。決め手になったのは、大学院で培ったプレゼンテーション能力を発揮した技術面接での研究発表。海外にも事業展開している企業の生産技術職として採用されました。将来は、大規模なプロジェクトに挑戦したいと思っています。



株式会社東京理化工業所に就職

●機械工学科4年
計測・診断システム研究室

井上 真紀さん

ものづくりに携わり、
地元福島に貢献したい

就活を成功に導く鍵は、諦めないことです。私自身、面接が上手くいかず失敗することもありましたが、就職指導課の方に相談したり個別に面接指導を受けるなどして改善を図りました。工学部の手厚いサポートは大きな強みだと思います。また、工学部就職セミナーに参加する地元企業が、工学部生を積極的に採用していることも有利に働きました。福島でもものづくりに関わる仕事に就き、地元貢献したいという思いをかなえることができてよかったです。



株式会社東芝に就職

●機械工学科4年
材料工学研究室

大森 琢史さん

日本大学の卒業生として
誇れる人になりたい

将来、アジアをはじめ世界中で水処理プラント施設の需要が高まると考えていました。学内で行われた東芝の会社説明会でその部署があることを知り、学科推薦を得て受けることにしました。機械工学科の先輩が活躍していることにも興味をそられました。実際に卒業生のリクルーターの方が親身に対応してくださり、後押しになりました。大手企業だからと諦めないで、自分を信じて取り組むことが大切です。これから社会に出て、日本大学の卒業生として誇れる人になりたいと思います。



日本電気株式会社に就職

●情報工学科4年
知能画像システム研究室

石渡 優也さん

サービスプランナーとして
社会に役立つ仕組みを提案

クラウドサービスに興味を持ったことがきっかけで、それを使ってソリューション提案をする会社で仕組みづくりに挑戦したいと思いました。早くから就職指導委員の先生にエントリーシートの添削や面接練習を指導していただいたことが、成功の決め手になったと思います。また、採用試験前に見学会があり、そこで積極的に質問したことも大きなポイントになりました。これからはサービスプランナーとして、社会に必要不可欠で、より役立つサービスや仕組みを提案していきたいと考えています。



富士通株式会社に就職

●情報工学科4年
生産システム工学研究室

菊地 里佳さん

人々の生活を豊かにする
SEになることが目標

教員を目指していましたが、情報の専門知識を学ぶうちに、やりたいことが明確になりました。富士通を志望した理由も、興味のある『スマートシティ』事業に情報面からアプローチできるからです。採用への近道になるのは学科推薦。そのおかげで、私は得意な面接を活かして内定をつかむことができました。企業経験者である就職指導委員の先生からのアドバイスもプラスになります。将来は、人々の生活を豊かにするSE（システムエンジニア）になることが目標です。



就職 特集

先輩たちに聞いた

工学部の 就職支援 活用術

ここが
POINT

皆さんが就職活動をスムーズに進められるように、工学部ではさまざまな就職支援を行っています。それらを有効に活用することが、希望の就職をかなえる鍵を握っています。先輩からのアドバイスを参考にしながら、“就活”の準備を始めましょう！

山形県庁に就職

●土木工学科4年 富澤 渉さん

大学に入学した時から公務員を目指す決めていました。まずは公務員試験の内容について知りたいと思い、1年生から公務員試験対策講座を受講。土曜日に開講しているので学業と両立でき、費用が安いことも魅力でした。解き方や時間を短縮する方法などを習得できただけでなく、同じ公務員を目指す仲間もでき、情報交換や互いに励まし合うことで、自分にとっての支えにもなりました。筆記試験対策は自分でもできますが、採用の決め手になる集団討論や面接練習は一人ではできません。夏期や春期に行われる特別集中講座にも参加して、事前に対策をとることが大切です。それが自信になり、本番でも実力を発揮できると思います。



ここが
POINT

- ✓ 講座を受講することで問題の解き方や時間短縮方法なども習得できる
- ✓ 同じ目標を持つ仲間を作り、互いに励まし支え合おう
- ✓ 夏期・春期特別集中講座で集団討論や面接の対策をとろう



公務員試験対策講座で
集団討論や面接対策も

本田技研工業株式会社に就職

●機械工学科4年 小林 亮太さん

工学部就職セミナーは幅広い業種の企業が参加しているので、どんな会社があってどんな仕事をしているのか詳しく知る機会になります。私は地元の栃木県の会社や気になる大手企業を回り説明を聞きましたが、直接話を聞くことで各社によって求める人材が違うことがわかりました。自分に合う会社を見つけるためにも、自己分析が大切だと改めて実感しました。また、リクルーターの先輩の生の声も貴重な情報になります。工学部就職セミナーのほかに、学内で行われる企業独自の説明会も重要な鍵を握っています。採用の近道になるので、第一志望の会社の説明会には積極的に参加しチャンスをつかんでください。



ここが
POINT

- ✓ 幅広い企業が参加しているので、的を絞ってまわるのが肝心
- ✓ 人事担当者やリクルーターの生の声を聞く
- ✓ 学内で行われる企業独自の説明会も積極的に活用すべし！



工学部就職セミナーで
企業が求める人材を探る

東京電力株式会社に就職

●電気電子工学科4年 小形 武美さん

就活の解禁時期が変更になり、これまでの流れとは変わったので、どのように就活を進めたらよいのかを知るために、まずは就職ガイダンスに参加しました。流れをつかめたことはもちろん、就職試験に向けて対策を講じることができました。特に力を入れたのは、R-CAP(自己分析テスト)とSPI模擬試験。テストを受けることで勉強を始めるきっかけになるとともに、実際にどのようなものなのか、時間配分はどうすればよいのかもわかりました。自己分析を徹底したことで、面接でしっかりアピールでき、採用につながったと思います。また、就職指導委員の先生のサポートも大きな力になるので、一人で悩まず相談するとよいでしょう。



企業就職試験対策講座で
就活の準備も万全に！



ここが
POINT

- ✓ 講座を受講することで、就活を始めるきっかけになる
- ✓ 就職ガイダンスでその年の就活の傾向を知ろう
- ✓ SPIや自己分析などのテストを積極的に受けよう

株式会社朝日ラバーに就職

●生命応用化学専攻2年 湯澤 拓也さん

研究室の先生からの紹介がきっかけで、大学院1年の夏休みにインターンシップを経験しました。その会社のことや同業社などの企業研究を始めたのが、就活の第一歩となりました。2週間にわたって実際の職場で業務を体験。働いている先輩方の生の声を聞くこともできました。もともと福島県内での就職を考えていましたが、会社の雰囲気や社風が自分に合っていると感じたことが志望した大きな理由です。インターンシップは自分の魅力をアピールする絶好の機会でもあります。それが採用につながる大きな決め手になったと思います。早い段階からインターンシップに参加することをお勧めします。



インターンシップは
アピールできる絶好の機会



ここが
POINT

- ✓ 志望する会社の業務内容を実際に見たり聞いたり体験できる
- ✓ 自分の魅力をアピールできる絶好の機会！
- ✓ いつからでも始められるので、早期に活用して将来設計に役立てる

日立アイ・エヌ・エス・ソフトウェア株式会社に就職

●情報工学科4年 鈴木 沙也香さん

業界別就職セミナーは、私が希望する情報通信を行うIT業界について詳しく知ることができました。本格的に就職活動を始め前に開催されるので、どんな業界や業種があるのか、どのように企業研究をしたらよいのかわかる貴重な機会となりました。また、先輩方の就職活動体験発表会もあり、大手企業や地元企業に対する就活経験談や、女性の先輩の就活経験談など具体的なお話を聞くことができました。さらにエントリーシートの書き方や面接での受け答えの仕方など、就活の不安ばかりが先行する私たちにとってとてもためになるアドバイスをいただき、就活に向けての心構えができました。



業界別就職セミナー&
就職活動体験発表会



ここが
POINT

- ✓ 就職活動が始まる前に企業から直接話が聞ける貴重な機会になる
- ✓ 業界の情報や採用計画を知り、対策に役立てよう！
- ✓ 就職活動体験発表会での先輩からのアドバイスも重要なポイント！

学生の活躍

さまざまな分野で活躍する学生たちを紹介します。

★詳しくは工学部ホームページ「学生の活躍」をご覧ください。

卒業生の皆さまへ

証明書が必要になったら

申込方法

申請取り扱いについては、「窓口での申請」または、「郵送による申請」に限ります。
(電話・FAX・E-mailでの取り扱いはいたしません)

【窓口での申請】(以下のものを持参してください)

- ① 本人による申請
「身分が証明できるもの」
- ② 代理人による申請
①本人の「身分が証明できるもの」のコピー ②委任状(本人の署名・捺印) ③代理人の「身分が証明できるもの」

【郵送による申請】(以下のものを封書で郵送してください)

- ① 「身分が証明できるもの」のコピー
※身分証明に記載されている個人情報は本人確認のためのみに使用し、証明書作成後に同封して返却いたします。
- ② 申請書
工学部HPからダウンロードできます。申請書をダウンロードできない場合は、任意の用紙に必要事項を記入してご送付ください。
＜必要事項＞
①氏名(在籍時の氏名) ②フリガナ(英文の場合はローマ字表記もご記入ください) ③生年月日
④学部・学科名または大学院・専攻名 ⑤入学(編入学)年月日
⑥卒業(修了)・退学年月日 ⑦学生番号(確実でなければその旨ご記入ください)
⑧証明書の種類・通数(厳封の有無をご記入ください) ⑨使用目的 ⑩連絡先電話番号(日中連絡ができるもの)
- ③ 発行手数料
下記料金表①のとおり、日本の「切手」でお支払いください。※切手は台紙等に貼付しないでください。
- ④ 返信用封筒
下記料金表②のとおり切手を貼付し、宛先を記入してご送付ください。
※お急ぎの場合は速達扱いにしてください。 ※封筒サイズ長形3号、申請通数が多い場合は定形外封筒

① 証明書の種類と発行手数料(1通当たり)

証明書	手数料	備 考
成 績 証 明 書	200円	
卒 業 (修 了) 証 明 書	200円	
修 得 学 科 目 証 明 書	200円	電気主任・電気工事
履 修 証 明 書	100円	測量学・火薬学
教 職 成 績 証 明 書	200円	
学力に関する証明書	100円	教職課程
調 査 書	300円	
英文証明書(1通目)	600円	成績・卒業(修了)
英文証明書(2通目以降)	200円	成績・卒業(修了)

注1:発行に1週間程度かかる場合があります。

注2:学部、大学院及び教職別にそれぞれ分けて申請してください。

② 郵便料金表

	証明書通数	普通郵便料金	速達扱い
定 形 料 金	1通	82円	362円
	2～3通	92円	372円
	4～5通	120円	400円
定形外料金	6～9通	140円	420円
	10通	205円	485円

〒963-8642 郡山郵便局私書箱12号
日本大学工学部 教務課 証明書係 TEL 024-956-8624

詳細については、工学部ホームページ
『証明書について』をご覧ください。

<http://www.ce.nihon-u.ac.jp>

※4月より工学部ホームページがリニューアルします。
右の画面とは異なりますのでご容赦ください。



2015年度 日本建築学会大会学術講演会で 若手優秀発表を受賞

この度、建築学専攻博士前期課程1年の我喜屋宗満さんが、(一社)日本建築学会材料施工委員会若手優秀発表を受賞しました。この賞は、昨年9月4日(金)から6日(日)に行われた2015年度日本建築学会大会(関東)学術講演会材料施工部門における29歳以下の若手研究者等の優れた口頭発表に贈られるものです。我喜屋さんは『竹補強ポリマーセメントモルタルの耐凍結融解性に関する一考察』を発表。補強材として竹を使用するという独創的な発想が注目を集めました。大学や企業の若手研究者も発表する中で、大学院生が受賞するのは稀なことであり、研究内容とともに高く評価を受けました。



第6回 福島地区CEセミナーで 口頭発表最優秀賞を受賞

昨年12月19日(土)に日本大学工学部で開催された第6回福島地区CEセミナーにおいて、生命応用化学専攻博士前期課程1年の廣田光さんが、口頭発表最優秀賞を受賞しました。CEセミナーは、福島県内において化学工学関連の研究をしている大学や高専と若手企業研究者による発表会であり、ポスター発表を含む32件の発表がありました。そのうち口頭発表は5件で、受賞者は廣田さんのみでした。発表した『四級ホスホニウム系イオン液体の密度・粘度・二酸化炭素溶解度』の研究の成果は、最先端・次世代研究開発支援(NEXT)プログラム、科学研究費助成事業・基盤研究(B)によるものです。



世界標準の グローバルエンジニア資格 PEの一次試験に合格

この度、建築学科4年の田井峻平さんが、海外で活躍する技術者にとって必要不可欠な職能資格であるPE(プロフェッショナル エンジニア)の一次試験にあたるFE(ファンダメンタルズ オブ エンジニアリング)試験に見事合格しました。この資格は在学中に取得できることから、工学部では試験内容に対応したグローバルエンジニア関連科目を設置。また、FE試験対策講座を開講するなど全面的なサポートによって、毎年合格者を輩出しています。田井さんは海外事業を展開する会社への就職が決まっており、将来、大いに活躍することが期待されています。



第3回 日本水環境学会東北支部 研究発表会で奨励賞を受賞

1月9日(土)に行われた第3回日本水環境学会東北支部研究発表会において、土木工学科4年の秋田紘志さんが奨励賞を受賞しました。本研究発表会は(公社)日本水環境学会の支部大会に位置づけられる学術発表会です。発表の完成度、研究目的と結果、質疑応答などの視点で審査が行われ、社会人・大学院生と学部生を分けて優秀賞と奨励賞が選定されました。秋田さんは、『多段型人工湿地における6年間のリン除去性能の変遷』についての研究を発表。人工湿地の中長期的な水質浄化性能を明らかにした成果が高く評価され、学部生部門の奨励賞に輝きました。

